

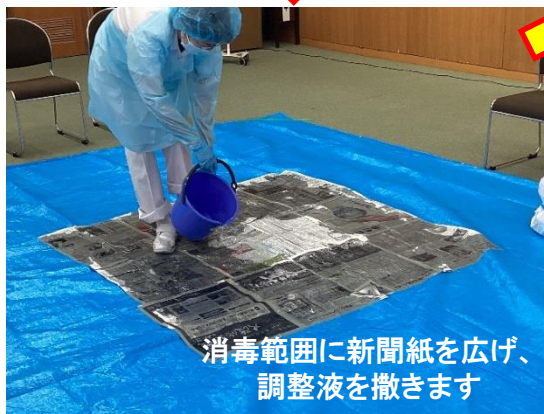
新興感染症発生を想定した訓練の実施

盛岡赤十字病院 院内感染対策チームでは、2025年6月18日に地域の連携医療施設と保健所等14施設の86名が参加して新興感染症発生を想定した訓練を実施しました。その様子をご報告いたします。

訓練のテーマは

「**消化器状況を伴う未知のウイルス感染症の対応**
～吐物処理方法の実技訓練～」です。

未知の感染症疑いの患者が待合室で突然嘔吐した状況を想定して、吐物を周囲に拡散させないように処理するためのシミュレーションを実施しました。



患者の模擬吐物には、ブラックライトに反応するクリームを混ぜ、嘔吐後には吐物の飛沫が約2m範囲に飛散していることを確認しました。
吐物を中央に集め、取り除いたあと、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液(調整液)で床を消毒します。

日赤ICTの実技のあとに、参加者の代表者が実際に処理を行い、実際にやってみると大変な作業であることを実感し、勉強になったとの感想がありました。
今後も年に1回、新興感染症対応訓練を実施して、感染防止の知識と技術を習得できるよう取り組みます。

